28)輸血/血漿分面製剤の説明書について \*同對した「輸血/血漿分面製剤の説明書」および「血漿分面製剤の説明書」の使用に関して回答して下さい

## |-201. 輸血/血漿分画製剤の説明書を使用しますか

7. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	件数	構成比
全面的に使用してみたい	29	18.0%
8使用してみたい	31	19.3%
後検討したい	9/	47.2%
<b>主使用する予定はない</b>	22	15.5%
合計	161	100%
未回答	34	

設問207で[(1)使用してみたい、(2)一部使用してみたい」と答えた施設に伺いますが、必要な年間使 用部数は(後日配布予定) 1-208.

## 血漿分画製剤の説明書を使用しますか 1-209.

	構成比						
	件数						0
回答施設なし	選択項目	全面的に使用してみたい	一部使用してみたい	今後検討したい	現在使用する予定はない	未回答	合計

設問209で[(1)使用してみたい、(2)一部使用してみたい」と答えた施設に伺いますが、必要な年間使 用部数は(後日配布予定) 1-210.

集計せず

希望説明書の送付先は 1-211.

集計せず

「輪血/血漿分画製剤の説明書」および「血漿分画製剤の説明書」についてご意見がございましたら、以下に記入して下さい 1-212.

- イラスト入りでとても分かりやすい。また、説明もしやすい。

- - 知識を再確認して欲しい。 製作者(団体)等の記載はないのですか? Fileで頂ければ必要部数は当院で印刷します

血液製剤適正使用推進のための埼玉県合同輸血療法委員会による

「多施設血清フィブリノゲン値解析」へのご協力のお願い

0000000減隔

病院長

前田平生 埼玉合同輸血療法委員会 代表世話人

(別記) 世話人

び赤十字血液センターからなる埼玉合同輸血療法委員会が活動をいたしております。委員 会の目的は「血液製剤の適正で安全な使用を推進する」ことです。このために調査、報告 厚生労働省の提案により、埼玉県でも平成21年7月から埼玉県と県内医療機関各位およ 等を行っております. 近年の研究では、血液凝固因子のフィブリノゲンの枯渇が大量出血の原因のひとつであ ブリノゲン値を県内の多施設において調査して(測定されているデータをカルテから集め ると報告されています. そこで, 昨年から 5 か年計画で大量に輸血した症例の実際のフィ る) おりました. 有用なデータが得られれば、新鮮凍結血漿の使用量削減につながります.

つきましては, 本年も「多施設血清フィブリノゲン値解析 (計画書別添)」へのご協力を お願いいたします.具体的には,9 月から 11 月の 3 か月間,1 日で赤血球濃厚液 10 単位 測定するものではない)を連結不可能無記名の状態で委員会へ提出していただくというも 以上を輪血した症例の輪血前後フィブリノゲン値(測定してあるものを利用する.新たに

25 は願いいたします、解析結果は2014年2月1日の「第5回埼玉輸血フォーラム」で報告の 別添の調査票にご記入いただき,調査票を 12 月 13 日(金)までにご返送いただきたく

ご多忙とは存じますが趣旨をご理解の上,ご協力いただきますようお願いいたします. なお、同様の依頼状は輸血部(門)の長にも送付しております 敬具

2013年8月2日

事務局:埼玉県赤十字血液センター

神田・田井 学術課 事務部

話:042-985-6243 **e** 

Email: godoyuketsu@saitama.bc.jrc.or.jp

		大量輸血	症例(RCC10単位以上)に	関するフィブリノゲン値等	等の調査票 (対	付象期間2013年	9月-11月)					
問 1	施	設名		設問2 記入者名								
問3	期間の	2の施設全体の総輸血	# 型RCC(140mLを1単位とする) 単位	同じく総輸車量FFP(120mLを1単位とする)	単位	同じく総輸血量PC	単位		その他Fib製剤や湖	個因子製剤を	使った場合には個	別に備考欄に記載してくだ
分記	問 4	患者 基本	情報	設問5 輸血量 (1日間)	の治療での)	設問6.1 AR	宗時の血質値 (輸)	加直近と同じでき	5.れば記載必要だ	設問7 1	入院時の凝固	因子値 (未検査の場合NDと
		齢 診療科	病態(名)または術式	輸血総RCC単位輸血総FFP単位		WBC /μL	RBC万/μL		PLT 万/μL			フィブリノゲン値
T												
						設問6.2 輸車	血前の血算値(輸」	血直近の値を採り	用)	設問7.2	輸血前の凝固	因子値(未測定の場合NDと
						WBC / μL	RBC万/μL	Hb g/dL	PLT 万/μL	PT %	aPTT 秒	フィブリノゲン値
							血後の血算値(輸」					因子値 (未測定の場合NDと
						WBC / μL	RBC万/μL	Hb g/dL	PLT 万/µL	PT %	aPTT 秒	フィブリノゲン値
						±0.88¢ / ∓4	<u> </u>	1 > 1 = 10 M (L + 1	Add to America	=n.887 A		
						WBC / μL	開皿削の皿昇値( RBC万/μL		朝皿した例のみ。 PLT 万/μL			フィブリノゲン値
						#D0 / μ L	ποσση/ μ Ε	IID g/uL	1ΕΙ /J/ μΕ	11 70	aiii 19	フィンツァックに
						設問6.5 再	    輸血後の血算値(	    輪血直後の値を	(2裁)	設問7.5	   再輪血後の凝	↓ 固因子値 (未測定の場合N
						WBC /μL	RBC万/μL		PLT 万/μL			フィブリノゲン値
							1277	0,	,			
						設問6.6 治	療終了時の血算値	直(輸血直後の値	を記載)	設問7.6	治療終了時の	の凝固因子値(未測定の均
						WBC / µL	RBC万/μL	Hb g/dL	PLT 万/μL	PT %	aPTT 秒	フィブリノゲン値

自治医科大学附属さいたま医療センター 端玉医科大学国際医療センター 埼玉医科大学国際医療センター/埼玉医科大学病院 埼玉良立がんセンター 埼玉医科大学国際医療センター 埼玉医科大学国際医療センター 埼玉医科大学国際医療センター	知 庫	秀雄
合医療センター 際医療センター/埼玉医科大学病院 ンター 合医療センター 祭医療センター 病医療センター	阿南	75 mlt
際医療センター/埼玉医科大学病院 ンター 合医療センター 際医療センター 病院		目弘
ンター 合医療センター 際医療センター 南院	悪果	研二
合医療センター 際医療センター 病院	伊丹	直人
禁医療センター 病院	大久保	来 光夫
<b>南</b> 院	北村	H
	佐藤	業
防衛医科大学校病院	坂口	
埼玉医科大学総合医療センター	噩	博之
埼玉県 保健医療部 薬務課	田田	建光
自治医科大学附属さいたま医療センター	田田	1] 煎
埼玉県立小児医療センター	野村	
獨協医科大学越谷病院	春木	宏介
	本本	<b>人</b> 美
自治医科大学附属さいた主医療センター	藤野	真治
さいたま赤十字病院	星野	茂
さいたま赤十字病院	屈	直子
	本	維子
埼玉県赤十字血液センター	村	伸彰
	南院 夜七ンター	1